



神奈川県内の指定競技会に初めて参加する方は必ずこの案内を熟読のうえ、最終ページの確認欄に署名して当日受付時に提出して下さい。提出がないと競技会の参加をお断りする事があります。

I. アーチェリーマナーについて(安全にかつ楽しくプレーするため守ること)

- ① いかなる場合でも(矢をつがえていなくても)人に向かって弓を引いてはならない。
- ② 矢をつがえずに弦を引いて放してはならない(空射ちといって弓が破損する可能性あり)。
- ③ 行射している者の前方に立たない、標的に近づかない。
- ④ 許可なく他人の弓に触ってはならない。
- ⑤ 他の人が矢を標的から抜いている時、決して矢の直後に立たない(ノックが目などに当たって負傷する)。
- ⑥ 自分の引き尺より短い矢を引いてはならない(レストから落ちて負傷する)。
- ⑦ 標的に向かって水平に引き分ける(引き戻しも同様)。レストから落ちた時は引き直す。
- ⑧ 弦が衣類やボタンに引っかからない服装でプレーする。
- ⑨ 弓具(ハンドル・リム・弦・矢等)は常に安全に使えるよう点検をする。ネジのゆるみ、サービングのほつれ、リムの傷、シャフトのひび割れ、異音等を必ずチェックする。
- ⑩ 飲酒してのプレー(酒気帯び含む)は厳禁。

II. アウトドアターゲットのルール(特に必要がある部分のみ抜粋)と説明

1. 行射について

- ① 行射時間は、通常50m以下の場合3射2分、60m以上の場合6射4分となっている。
- ② 行射は通常ブザー(音響装置)と信号灯またはデジタル時計(視覚装置)によって管理される。

※視覚装置と音響装置に相違が生じた場合音響装置を優先する。

- ③ 1立ちの場合の流れは次のようになっている。

① **ブザー2回** シューティングライン上に進む 【信号：赤】

※信号灯が赤色の時は行射してはならない。

ライン上では**矢をつがえてもよいが、弓を持ち上げたり引いたりしてはならない。**

② 10秒後 **ブザー1回** 行射開始 【信号：赤→青】

③ 残り30秒 【信号：青→黄】

④ **ブザー3回** 行射終了 【信号：黄→赤】

※行射終了後に射ってしまった場合、そのエンドの最高点は削除される。

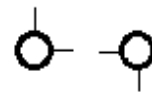
㊦ 採点・スコアカード記入、的中孔チェック、矢取り

※途中ブザーが5回以上鳴ったら直ちに行射をストップする事(緊急事態発生等)。

- ④ 4名の競技者が2名ずつ行射する場合、行射順はA B—C D、C D—A B、A B—C Dとする。競技者AおよびCは左側、競技者BおよびDは右側から行射する。
- ⑤ 矢を射ち終えたら速やかにシューティングラインからウェイトングライン後方に下がる。また射ち終えた後、ライン上でスコープを覗いてはならない。
- ⑥ シューティングラインより標的側に落ちた矢は射った矢とみなされる。ただし前方にある3mラインの手前側にある矢は射ったことにはならない。

2. 採点および矢取りについて(採点方法と注意点の説明)

- ① 採点は、同じ標的を使用する競技者同士で行う。相互に責任を持って得点を確認し、記入しなければならない。自分の矢は自分で点数を読みあげ、他の競技者がスコアを記入する(相互採点)。素点(得点)の記入が終わったら、毎回本人にスコアカードを見せ確認を求める。
- ② スコアカードには素点(得点)の1~10およびX(エックス)の英数字を記入する。標的をはずした矢はM(ミス)と記入、必ず**高い得点から順に記入する**。
- ③ 素点の判定の際、同標的の競技者が同意しない場合、近くの審判員を呼んで最終判定を依頼する。
- ④ 採点が終わるまでは**矢・標的・畳に触れることはできない**。
- ⑤ 記入した素点は、矢を抜く前であれば、同標的の全競技者が同意すれば訂正できる。訂正後には同標的の**競技者全員の確認のサインが必要**となる。ただし、累計・合計点については訂正できる。
- ⑥ **矢取りする前には的中孔をチェックする**。チェックの方法は的中孔の12時と3時の位置から外側に、1本ずつ長さ5ミリ以内の線を書く。書きにくい場合はいずれかの方向に直角に二本の線を書く。L印、レ点は使用しない。



的中孔チェックの例

- ⑦ 矢を抜く時には、必ず「矢取します」と声をかけ、後方に注意する。
- ⑧ 標的をはずした矢が回収できない(ロストアロー)場合は審判員に報告する。
- ⑨ 跳ね返り矢、ぶら下がり矢等が発生した場合は、直ちに手を上げ審判員に連絡する。

3. 弓具故障等について

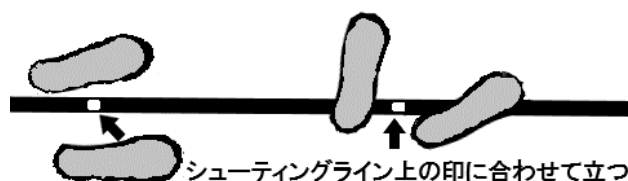
例えばレストが折れてしまった時、直ぐに手を上げ審判員に弓具が故障したことを伝えれば修理時間が与えられる。修理後の行射時間は最大15分間与えられる。

また鼻血などの医学的な問題時も時間が認められることもある。

4. その他

- ① シューティングライン上の立ち位置について。

《右図参照》



- ② 競技開始前に所有する矢の本数を記録し、各エンドごとに確認する。
- ③ 矢には、競技者の名前またはイニシャルをシャフトに記入する。
矢は同じ色のシャフト、ノック、また同じ形状および色の組み合わせの羽根をつけ
同一エンドは同じものを使用する。
- ④ スコープ(望遠鏡等)の使用は認められている。他の競技者の妨げにならなければ
シューティングライン上に置いたままでもよい。但しスコープ本体は腋の高さを
超えてはならない。
- ⑤ ゼッケン(競技者番号)の表示は、クイバー又は太腿に明瞭に表示し、競技中は
常にシューティングラインの後方から見えなければならない。
- ⑥ ヘッドフォン、携帯(スマホ)等は、ウェイティングライン後方のみで
使用できる。

5. 服装について

- ① 競技者はスポーツウェア、スポーツシューズを着用しなければならない。
- ② スポーツスラックスまたはショートパンツ、および長袖あるいは半袖シャツの
着用が求められる。女子はこれに加えてスカート、キュロットスカートでもよい。
- ③ 色彩に関係なくデニムもしくはジーンズ、カモフラージュ模様の衣服と用具
および荷役作業用ズボン着用してはならない。
- ④ 天候状況によりレインギア等の防水具、防寒具を着用できる。

Ⅲ. スコアカードの記入について

1. 競技開始前の準備

- ① スコアカードは前半用と後半用、合わせて2枚配布される。
- ② 競技開始前に大会名・日付・ゼッケン(競技者番号)・選手名・所属(各所属ア協名
・学校名等)を記入し、部門・種目を○で囲む。
- ③ 合わせて各エンドにゼッケンを記入し、前半・後半、距離を○で囲む。
※黒色の油性ボールペンを必ず使用する、水性は雨等でにじむので不可とする。

2. 記入例

- ① 相互採点により記入する。採点方法は上記Ⅱ. 2を参照に素点を確実に記入する。
故意に高い点数を記入、または書き換えを行った場合は失格になることがある。

①正式提出用

例 大会名: 横浜市民OX大会 2019年4月1日

ゼッケン: 1-A 選手名: とみおか けんた 富岡 健太

部門: RC CP・BB 種目: 男・女 キャ デ ット・少年・成年

所属: 所属のフットボール協会または学校名 神奈川県 神奈川

前回合計	256	10点数	6	×数	3	選手サイン <u>富岡 健太</u> 記録者サイン <u>池田 一郎</u>
今回合計	270	10点数	8	×数	4	
総計	526	10点計	14	×数計	7	

90m・70m・60m・ <u>50m</u> ・40m・30m・18m 前半・ <u>後半</u>								小計	6射計	
1回目	ゼッケン	IA	X	10	9	8	7	6	50	49
	訂正	<u>富岡</u>	<u>池田</u>	<u>鈴木</u>	<u>(K.O)</u>	8			49	

90m・70m・60m・ <u>50m</u> ・40m・30m・18m 前半・ <u>後半</u>								小計	12射計	
2回目	ゼッケン	IA	#	8	7	7	7	5	34	83
	訂正	時間外	M	<u>(大西)</u>						

発射 ← ※ 審判員が訂正する

90m・70m・60m・ <u>50m</u> ・40m・30m・18m 前半・後半								小計	12射計
--	--	--	--	--	--	--	--	----	------

- ② 合計点(総計含)の記入のないものは0点となる。
③ X数はXの数だけを、10点数は{X+10}の数を記入する。
④ 素点の訂正は上記のように選手同士が確実に行う、時間外発射は審判員が訂正する。
⑤ 文字は分かりやすいように記入する。なぞり書き・ごまかし文字・判読不明の場合Mとして判断することがある。

《下記の例参照》

1 ⇒ 1・9 ⇒ 9・3 ⇒ 3・7 ⇒ 7
8 ⇒ 8・6 ⇒ 6
(7を8に直した) (なぞり書)

- ⑥ 競技が終了したら選手名・採点者名、および他の項目もすべて記入し、合計点に間違いがないか十分に確認してから、審判員又はスコア回収員に提出する。

※スターバッジ所有者(グリーンバッジ除く)は提出の必要はありません。それ以外は初回のみ提出。

神奈川県アーチェリー協会 御中

県内の競技会に出場するためのルールおよび一般的なマナーについて内容を確認しました。
安全に留意し競技会に参加します。

西暦 年 月 日

年齢又は学年 種目 (RC・CP・BB)

所属 氏名 男・女

全日本アーチェリー連盟登録 No. (申請中・未登録)